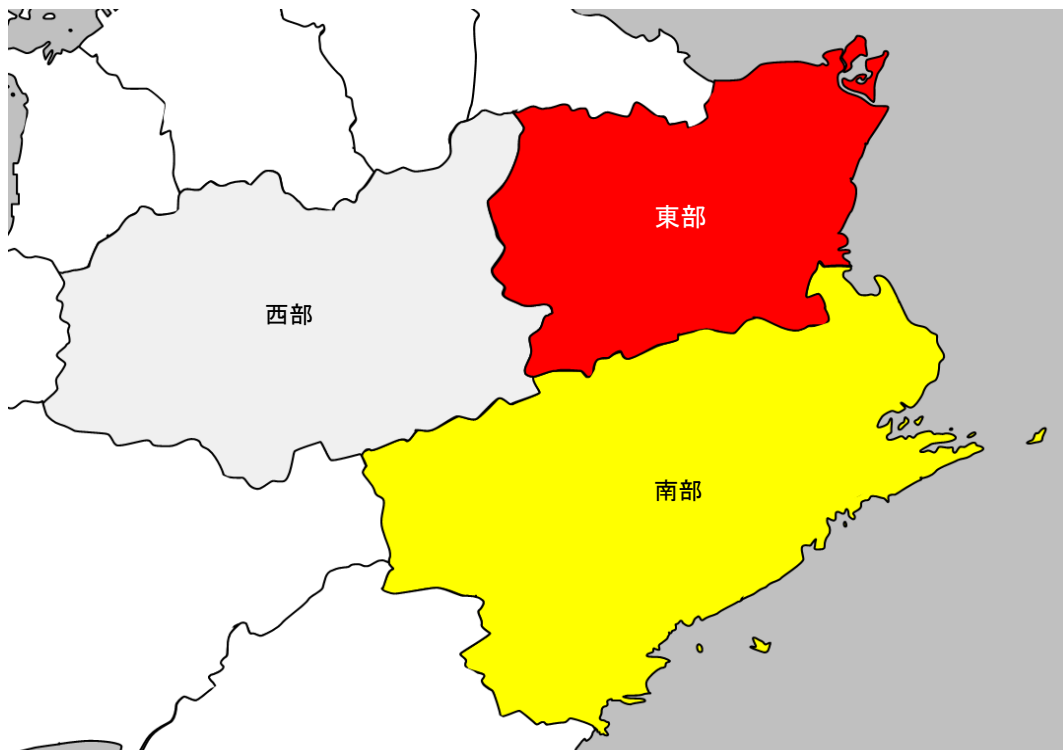


# 36. 徳島県

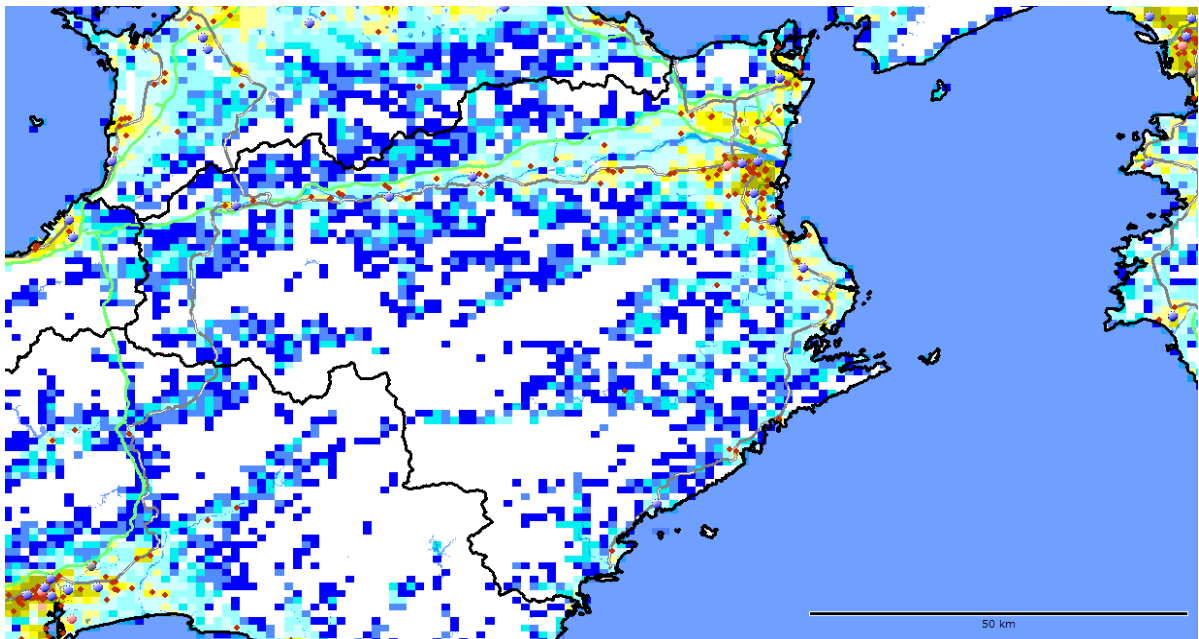


目次

徳島県	36	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	36	-	8
1. 東部医療圏	36	-	20
2. 南部医療圏	36	-	25
3. 西部医療圏	36	-	30

# 36. 徳島県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (徳島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 徳島県は、総人口約756千人(2015年)、面積4147km<sup>2</sup>、人口密度は182人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 徳島県の総人口は2025年に686千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に571千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の119千人が、2025年にかけて146千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には143千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 徳島県の一人当たり医療費(国保)は392千円(偏差値61)、介護給付費は295千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 徳島県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が58(病院医師数58、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値65と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 徳島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12773人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8266床(偏差値56)、高齢者住宅等が4507床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9874人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム38、軽費ホーム44、グループホーム61、サ高住54である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値81と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2034人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

徳島県の総人口は、2005年809950人が、2015年に755733人と7%減少し、2025年の人口が686332人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

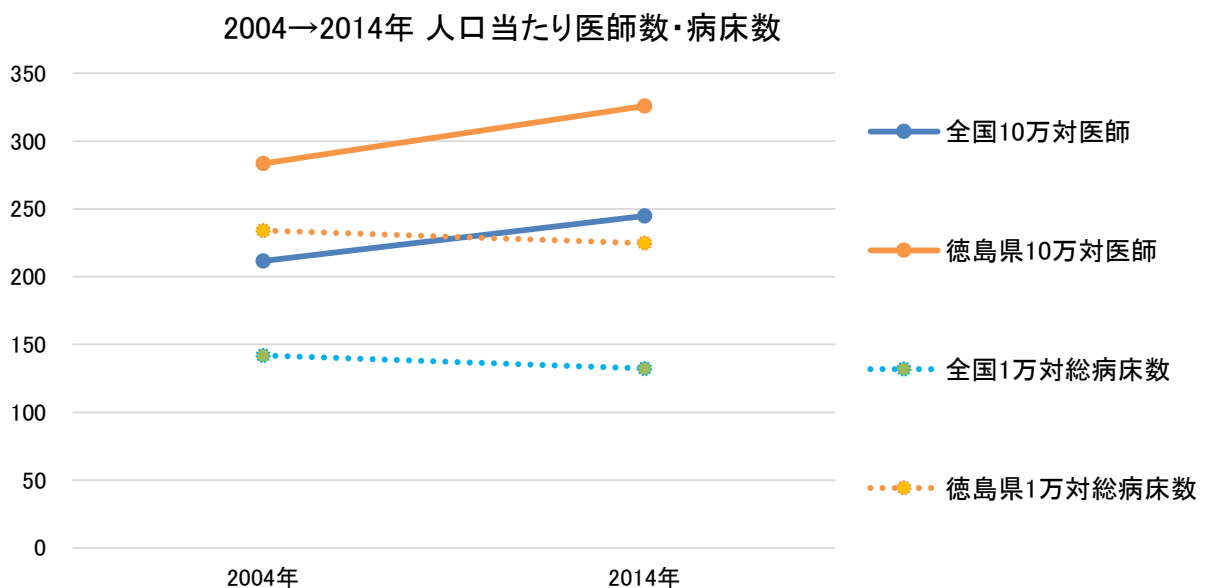
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が123(人口10万人当たり15.2病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に113(人口10万人当たり15病院(全国平均6.7)偏差値70)となり、10年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が791(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に743(人口10万人当たり98診療所(全国平均79)偏差値60)と、48診療所が減少した。

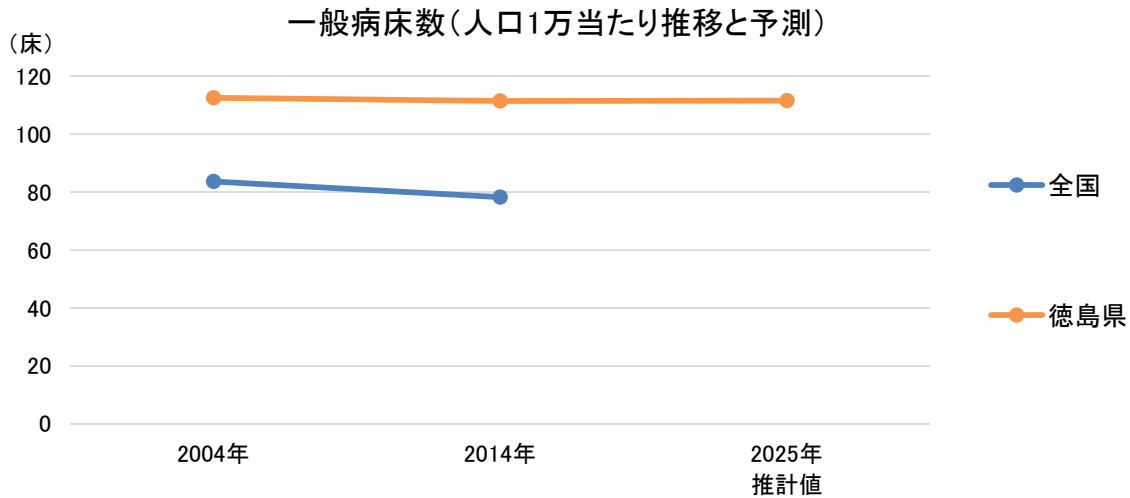
2004年の総病床数が18952床(人口1万人当たり234(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に16982床(人口1万人当たり225(全国平均132)偏差値66)と、1970床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が2296人(人口10万人当たり283人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2014年に2463人(人口10万人当たり326人(全国平均245人)偏差値59)と、167人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



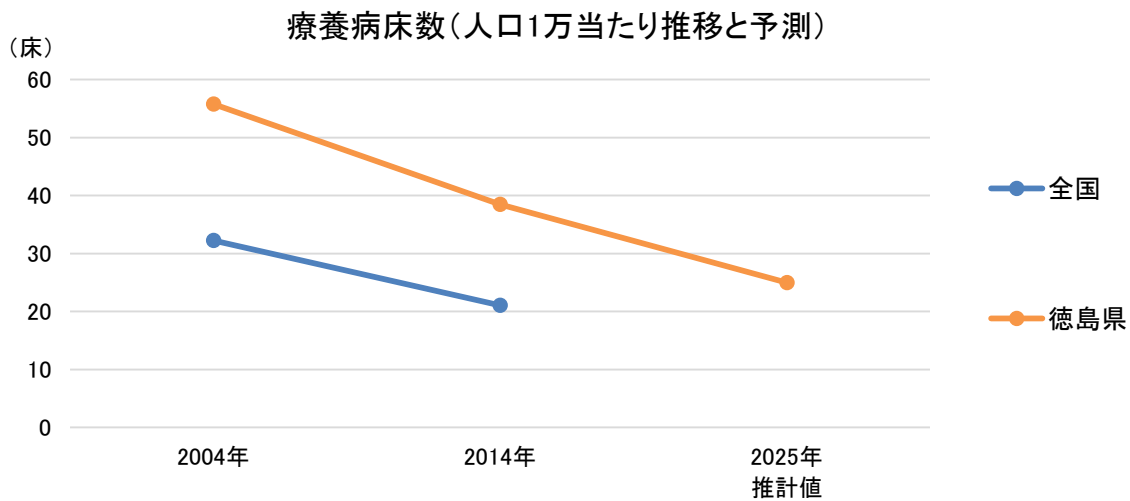
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が9115床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に8419床(人口1万人当たり111(全国平均78)偏差値62)と、696床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7653床(2025年の推計人口1万人当たり112)になることが予想される。



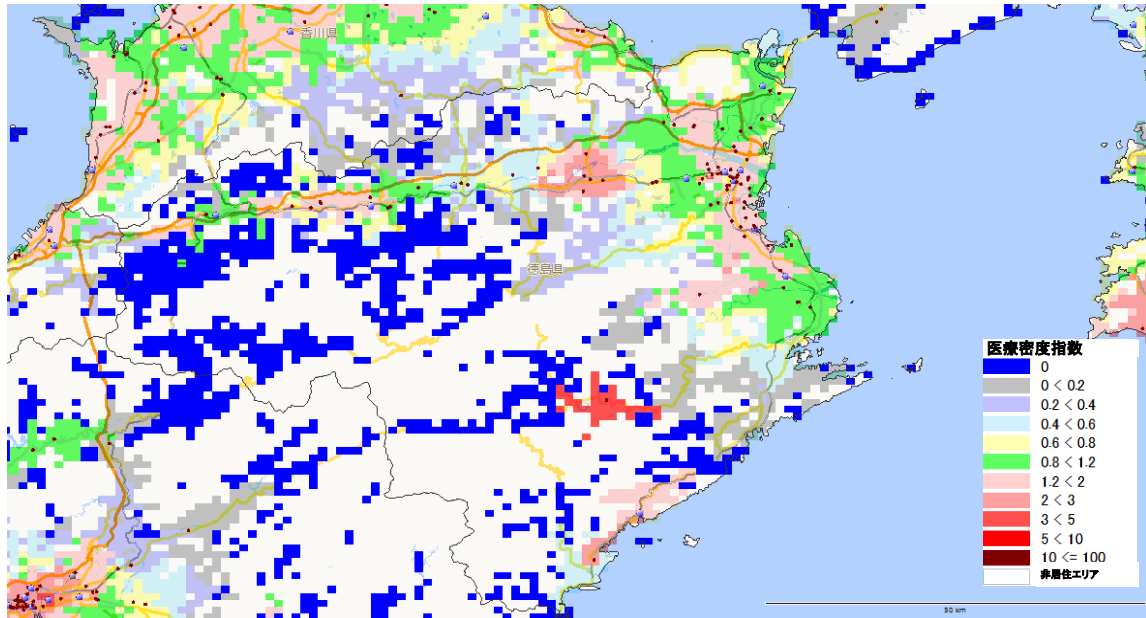
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が5441床(75歳以上1000人当たり56(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に4587床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、854床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3648床(2025年の推計75歳以上1000人当たり25)になることが予想される。



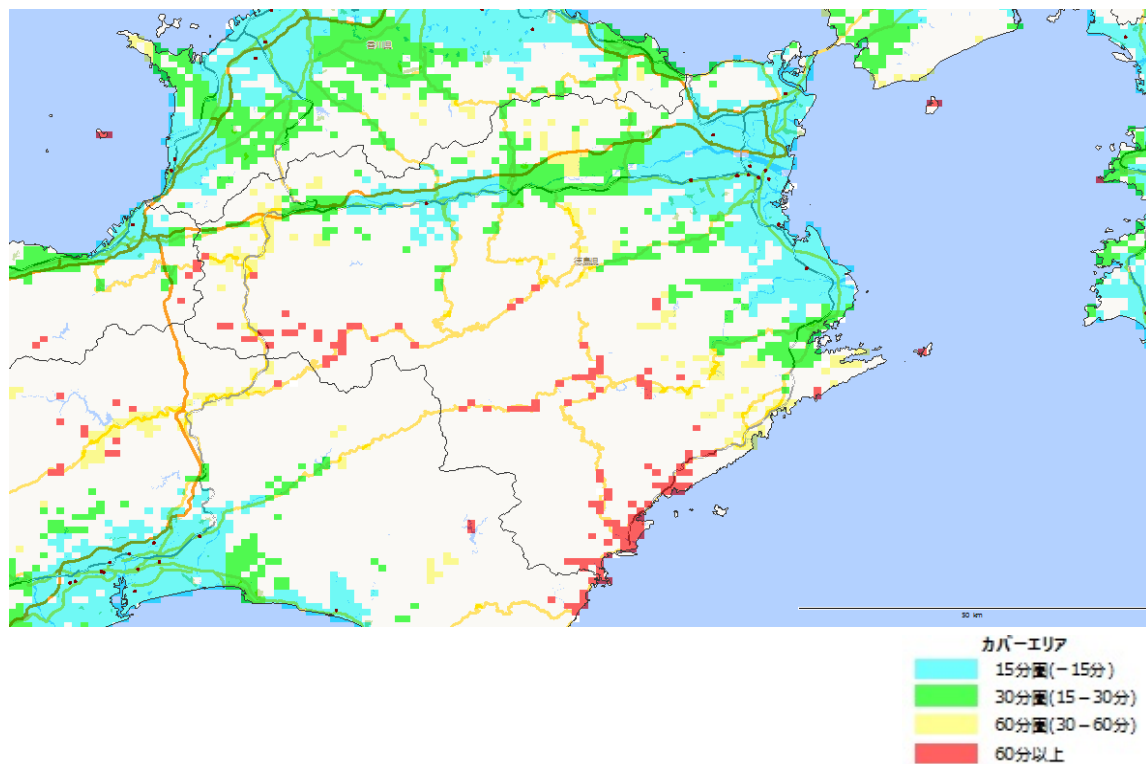
(徳島県) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表36-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資\_図表 36-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
徳島県	756	44位	4,147	36位	182.3		31%	686	571	119	146	143	-9%	-17%	23%	-2%
東部	527	70%	1,017	25%	518.5	地方都市型	28%	488	416	74	98	99	-7%	-15%	32%	1%
南部	148	20%	1,724	42%	85.6	過疎地域型	34%	131	106	27	31	28	-11%	-19%	15%	-10%
西部	81	11%	1,406	34%	57.5	過疎地域型	38%	67	49	18	17	16	-17%	-27%	-6%	-6%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資\_図表 36-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
徳島県	1.12	2.27	10,693	11,883	-11.1%
東部	1.23	1.89	6,608	7,959	-20.4%
南部	0.92	2.06	2,263	2,513	-11.1%
西部	0.76	0.84	1,822	1,411	22.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 36-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
徳島県	392	61	1.097	170	63	1.255	195	54	0.995	295	62
東部	379	58	1.075	160	60	1.188	193	53	1.001	292	61
南部	401	63	1.079	178	66	1.260	194	53	0.954	294	62
西部	456	75	1.215	224	81	1.562	208	61	1.014	314	67
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資\_図表36-35を参照。

資\_図表 36-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
徳島県	113	1.3%	15.0	70	744	0.7%	98	60
東部	74	65%	14.0	68	543	73%	103	63
南部	21	19%	14.2	68	123	17%	83	52
西部	18	16%	22.2	88	78	10%	96	59
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 36-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
徳島県	744	0.7%	98	60	619	0.7%	82	55	125	1.6%	16.5	66
東部	543	73%	103	63	441	71%	84	56	102	82%	19.3	71
南部	123	17%	83	52	115	19%	78	53	8	6%	5.4	49
西部	78	10%	96	59	63	10%	78	53	15	12%	18.5	69
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 36-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
徳島県	14,848	0.9%	1,965	65	2,033	1.9%	269	68	16,881	1.0%	2,234	66
東部	10,487	71%	1,989	65	1,657	82%	314	73	12,144	72%	2,304	68
南部	2,390	16%	1,619	58	119	6%	81	50	2,509	15%	1,699	57
西部	1,971	13%	2,436	74	257	13%	318	73	2,228	13%	2,754	76
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 36-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
徳島県	6,522	0.7%	863	57	4,383	1.3%	580	65	3,883	1.2%	514	61
東部	4,304	66%	816	55	3,349	76%	635	68	2,796	72%	530	62
南部	1,573	24%	1,065	66	538	12%	364	55	271	7%	184	46
西部	645	10%	797	54	496	11%	613	67	816	21%	1,009	84
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 36-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
徳島県	705	1.0%	93	58	699	1.1%	92	56
東部	545	77%	103	60	439	63%	83	54
南部	132	19%	89	57	157	22%	106	59
西部	28	4%	35	45	103	15%	127	62
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資\_図表 36-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
徳島県	4,819	4,364	0	10,072	2,116	4,385	67.3%	56	0.0%	46
東部	3,196	2,763	0	7,322	1,499	3,339	64.8%	55	0.0%	46
南部	1,223	1,215	0	1,167	358	538	77.2%	60	0.0%	46
西部	400	386	0	1,583	259	508	59.8%	53	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 36-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
徳島県	17,436	0.6%	2,307	51	6,204	0.6%	821	51
東部	12,576	72%	2,386	52	4,512	73%	856	52
南部	4,188	24%	2,836	56	1,188	19%	805	50
西部	672	4%	831	37	504	8%	623	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 36-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
徳島県	2,614	0.8%	346	58	1,694	0.8%	224	58	920	0.7%	122	56
東部	1,963	75%	372	61	1,259	74%	239	61	704	76%	133	60
南部	426	16%	289	52	297	18%	201	55	129	14%	87	45
西部	225	9%	278	51	138	8%	171	50	87	9%	108	52
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 36-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
徳島県	150	1.0%	19.8	62	76	0.6%	10.1	51	71	0.7%	9.4	53
東部	117	78%	22.2	65	62	82%	11.8	54	56	79%	10.6	57
南部	23	15%	15.6	55	12	16%	8.1	46	9	13%	6.1	44
西部	10	7%	12.4	50	2	3%	2.5	34	6	8%	7.4	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 36-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	皮膚科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	眼科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	耳鼻咽喉科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
徳島県	36	0.7%	4.8	53	79	0.8%	10.5	60	58	0.8%	7.7	57
東部	31	86%	5.9	58	62	78%	11.8	64	49	84%	9.3	63
南部	5	14%	3.4	46	14	18%	9.5	57	8	14%	5.4	48
西部	0	0%	0	30	3	4%	3.7	38	1	2%	1.2	32
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 36-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	精神科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	整形外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
徳島県	59	0.7%	7.8	54	145	0.7%	19.2	55	121	0.8%	16.0	59
東部	50	85%	9.5	59	113	78%	21.4	58	94	78%	17.8	63
南部	4	7%	2.7	39	24	17%	16.3	50	19	16%	12.9	52
西部	5	8%	6.2	49	8	6%	9.9	41	8	7%	9.9	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 36-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
徳島県	51	0.9%	6.7	61	56	0.9%	7.4	60	49	0.9%	6.5	58
東部	43	84%	8.2	68	46	82%	8.7	66	40	82%	7.6	62
南部	5	10%	3.4	45	7	13%	4.7	49	7	14%	4.7	52
西部	3	6%	3.7	46	3	5%	3.7	44	2	4%	2.5	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 36-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
徳島県	54	0.8%	7.1	57	7	0.5%	0.9	47	25	0.8%	3.3	54
東部	41	76%	7.8	59	5	71%	0.9	47	16	64%	3.0	53
南部	7	13%	4.7	49	2	29%	1.4	52	5	20%	3.4	55
西部	6	11%	7.4	57	0	0%	0	37	4	16%	4.9	64
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 36-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
徳島県	21	1.1%	2.8	60	23	1.0%	3.0	59
東部	18	86%	3.4	66	20	87%	3.8	65
南部	3	14%	2.0	54	2	9%	1.4	46
西部	0	0%	0	37	1	4%	1.2	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 36-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
徳島県	9,218	0.8%	1,220	62	7,738	0.8%	1,024	63	1,480	0.8%	196	56
東部	6,539	71%	1,240	63	5,390	70%	1,022	63	1,150	78%	218	59
南部	1,669	18%	1,131	59	1,485	19%	1,006	62	184	12%	125	46
西部	1,009	11%	1,247	63	863	11%	1,067	64	146	10%	181	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 36-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
徳島県	1,366	1.1%	181	65	2,598	0.9%	344	63
東部	1,018	74%	193	68	2,092	81%	397	69
南部	217	16%	147	59	342	13%	232	51
西部	131	10%	162	62	164	6%	203	47
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 36-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
徳島県	144	1.1%	1.2	59	32	2.6%	0.3	81	90	0.9%	0.8	55
東部	107	74%	1.4	64	22	69%	0.3	85	67	74%	0.9	63
南部	22	15%	0.8	50	5	16%	0.2	68	13	14%	0.5	42
西部	15	10%	0.8	50	5	16%	0.3	82	10	11%	0.6	45
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資\_図表 36-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
徳島県	12,773	0.8%	107	52	8,266	0.8%	69	56	4,507	0.7%	38	47
東部	8,380	66%	113	55	4,958	60%	67	54	3,422	76%	46	52
南部	2,458	19%	92	43	1,873	23%	70	57	585	13%	22	37
西部	1,935	15%	107	52	1,435	17%	79	64	500	11%	28	41
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 36-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
徳島県	3,931	1.1%	33	68	3,222	0.6%	27	42	1,113	1.7%	9.3	63
東部	2,532	64%	34	70	1,575	49%	21	36	851	76%	11.4	68
南部	708	18%	27	57	985	31%	37	52	180	16%	6.7	57
西部	691	18%	38	77	662	21%	37	52	82	7%	4.5	51
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 36-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
徳島県	195	0.1%	1.6	38	30	0.1%	0.3	44	2,202	1.1%	18.5	61
東部	177	91%	2.4	39	0	0%	0	43	1,473	67%	19.8	63
南部	0	0%	0	37	30	100%	1.1	49	360	16%	13.5	52
西部	18	9%	1.0	38	0	0%	0	43	369	17%	20.4	64
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 36-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
徳島県	2,080	0.9%	17.4	54	0	0.0%	0	44	2,080	1.0%	17.4	56
東部	1,772	85%	23.8	63	0		0	44	1,772	85%	23.8	65
南部	195	9%	7.3	40	0		0	44	195	9%	7.3	41
西部	113	5%	6.2	39	0		0	44	113	5%	6.2	39
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 36-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数				看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
徳島県	1,757	1.1%	14.7	69	1,414	1.2%	11.9	72	343	0.7%	2.9	50
東部	1,179	67%	15.8	74	920	65%	12.4	74	259	75%	3.5	56
南部	294	17%	11.0	53	244	17%	9.1	59	50	15%	1.9	40
西部	284	16%	15.7	73	250	18%	13.8	81	34	10%	1.9	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 36-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数				介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
徳島県	11,908	0.8%	100	58	9,874	0.8%	83	56	2,034	0.9%	17.1	56
東部	7,645	64%	103	60	6,136	62%	82	55	1,509	74%	20.3	61
南部	2,505	21%	94	53	2,194	22%	82	55	311	15%	11.6	46
西部	1,758	15%	97	55	1,544	16%	85	58	214	11%	11.8	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 36-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
徳島県	7,787	0.7%	65	50	2,558	0.6%	21	45	12,921	0.9%	108	55
東部	5,827	75%	78	54	1,777	69%	24	47	9,741	75%	131	62
南部	1,373	18%	51	45	321	13%	12	37	1,777	14%	67	42
西部	587	8%	32	39	460	18%	25	48	1,403	11%	77	46
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 36-28 総人口の推移と医療需要<sup>8</sup>の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
徳島県		809,950	755,733	-7%	686,332	-15%	3%	2%	5%
東部	地方都市型	549,240	527,175	-4%	488,496	-11%	7%	5%	12%
南部	過疎地域型	164,694	147,656	-10%	131,173	-20%	1%	-3%	-2%
西部	過疎地域型	96,016	80,902	-16%	66,663	-31%	-7%	-10%	-16%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 36-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
徳島県	123	15.2	71	113	15.0	70	-10	-8%	102
東部	81	14.7	70	74	14.0	68	-7	-9%	66
南部	21	12.8	65	21	14.2	68	0	0%	21
西部	21	21.9	88	18	22.2	88	-3	-14%	15
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 36-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
徳島県	791	98	61	743	98	60	-48	-6%	690
東部	554	101	62	543	103	63	-11	-2%	531
南部	143	87	55	124	84	53	-19	-13%	103
西部	94	98	61	76	94	58	-18	-19%	56
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 36-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
徳島県	2,296	283	59	2,463	326	59	167	7%	2,647
東部	1,708	311	62	1,902	361	62	194	11%	2,115
南部	392	238	53	390	264	52	-2	-1%	388
西部	196	204	49	171	211	46	-25	-13%	144
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 36-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
徳島県	18,952	234	66	16,982	225	66	-1,970	-10%	14,815
東部	13,320	243	68	12,198	231	68	-1,122	-8%	10,964
南部	2,933	178	56	2,547	172	57	-386	-13%	2,122
西部	2,699	281	75	2,237	277	76	-462	-17%	1,729
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 36-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
徳島県	9,115	113	60	8,419	111	62	-696	-8%	7,653	112
東部	6,056	110	59	5,870	111	62	-186	-3%	5,665	116
南部	1,999	121	63	1,672	113	63	-327	-16%	1,312	100
西部	1,060	110	59	877	108	61	-183	-17%	676	101
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 36-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
徳島県	5,441	56	63	4,587	38	65	-854	-16%	3,648	25
東部	4,101	70	71	3,461	46	72	-640	-16%	2,757	28
南部	618	28	47	596	22	51	-22	-4%	572	19
西部	722	44	56	530	29	57	-192	-27%	319	18
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

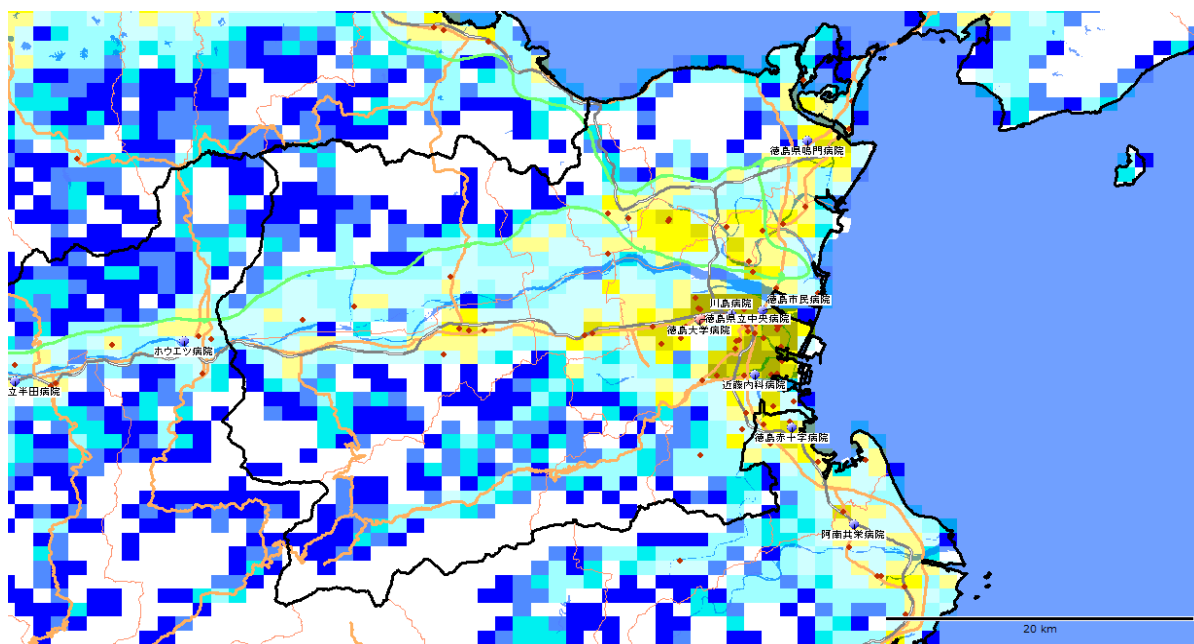
資\_図表 36-35 後期高齢者の医療費・地域差指数<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
徳島県	1,011	56	1.047	525	57	1.097	455	53	1.001
東部	1,041	59	1.079	536	58	1.122	472	57	1.038
南部	925	49	0.968	469	51	0.987	424	46	0.947
西部	1,022	57	1.054	562	60	1.155	434	48	0.964
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

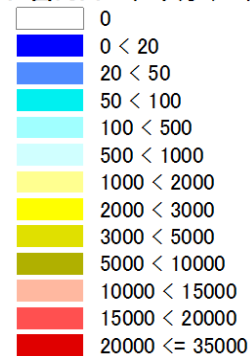
# 36-1. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [徳島市](#)                      [鳴門市](#)                      [吉野川市](#)                      [阿波市](#)  
[佐那河内村](#)                      [石井町](#)                      [神山町](#)                      [松茂町](#)  
[北島町](#)                      [藍住町](#)                      [板野町](#)                      [上板町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(徳島市)は、総人口約527千人(2015年)、面積1017km<sup>2</sup>、人口密度は519人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に488千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に416千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の74千人が、2025年にかけて98千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には99千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は379千円(偏差値58)、介護給付費は292千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.23、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.89で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が61(病院医師数61、診療所医師数60)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の徳島市民病院(Ⅲ群)、徳島県立中央病院(Ⅱ群・救命)、徳島大学病院(Ⅰ群)、500例以上の徳島県鳴門病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8380人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4958床(偏差値54)、高齢者住宅等が3422床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6136人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム36、介護療養型医療施設68、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム63、サ高住63である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値85と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、1509人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-20%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (東部医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年549240人が、2015年に527175人と4%減少し、2025年の人口が488496人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

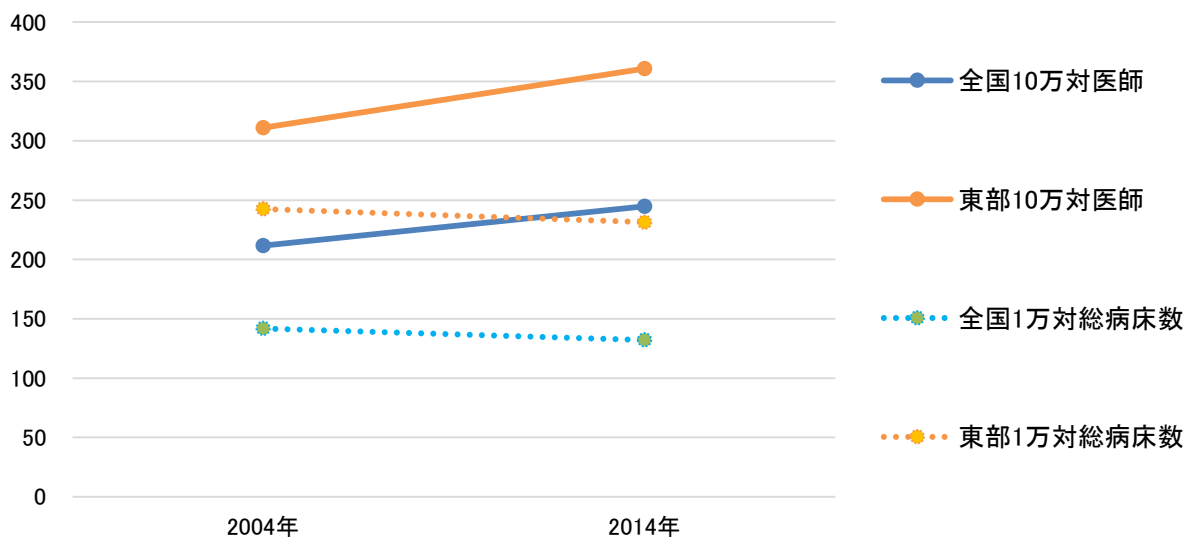
2004年の病院数が81(人口10万人当たり14.7病院(全国平均7.1)偏差値70)であったが、2014年に74(人口10万人当たり14病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が554(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に543(人口10万人当たり103診療所(全国平均79)偏差値63)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が13320床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に12198床(人口1万人当たり231(全国平均132)偏差値68)と、1122床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

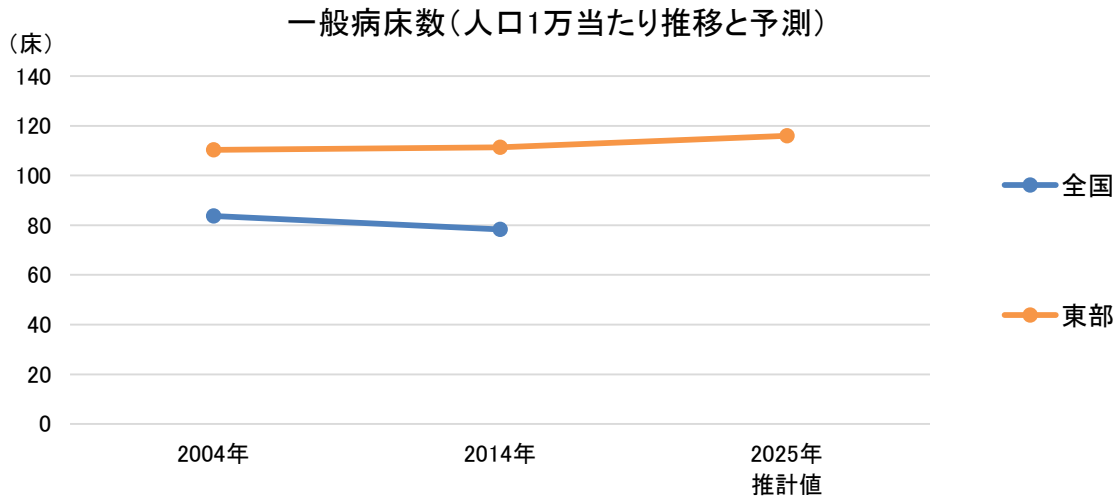
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が1708人(人口10万人当たり311人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2014年に1902人(人口10万人当たり361人(全国平均245人)偏差値62)と、194人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



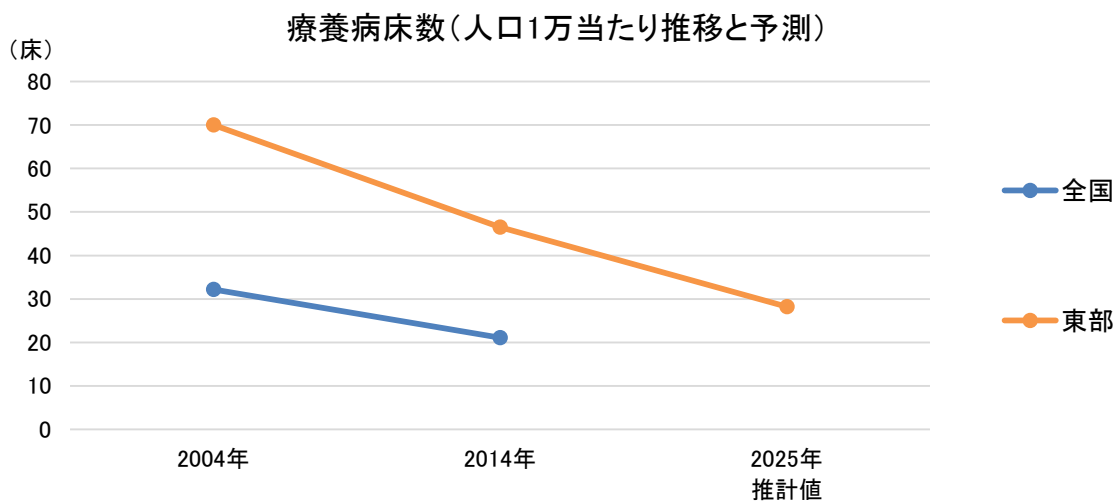
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6056床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に5870床(人口1万人当たり111(全国平均78)偏差値62)と、186床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5665床(2025年の推計人口1万人当たり116)になることが予想される。



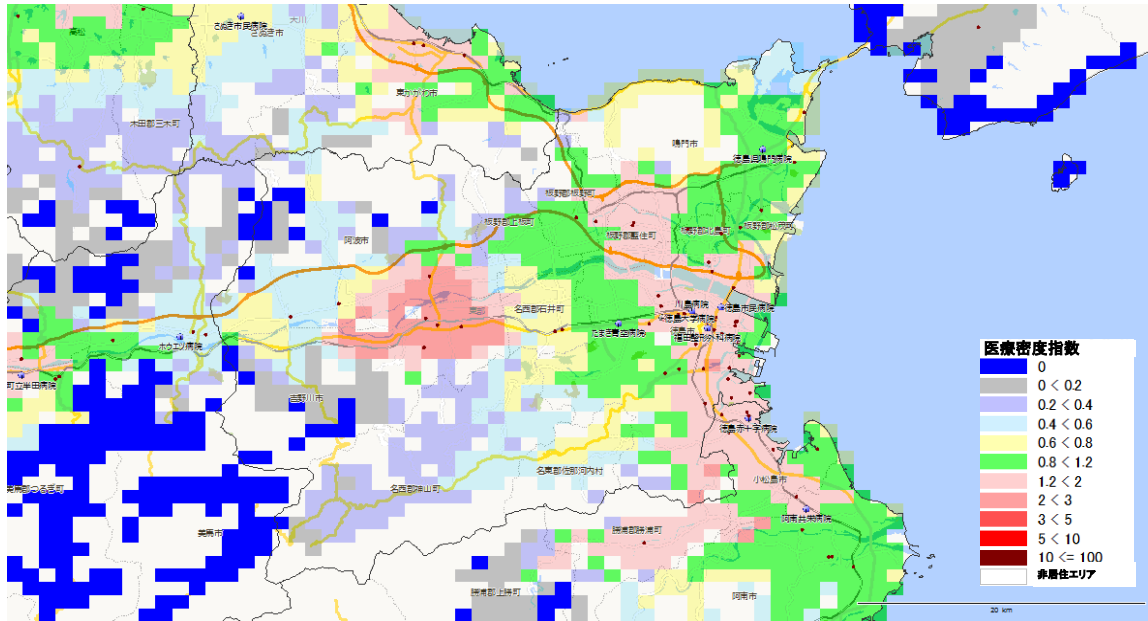
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4101床(75歳以上1000人当たり70(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に3461床(75歳以上1000人当たり46(全国平均21)偏差値72)と、640床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2757床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。



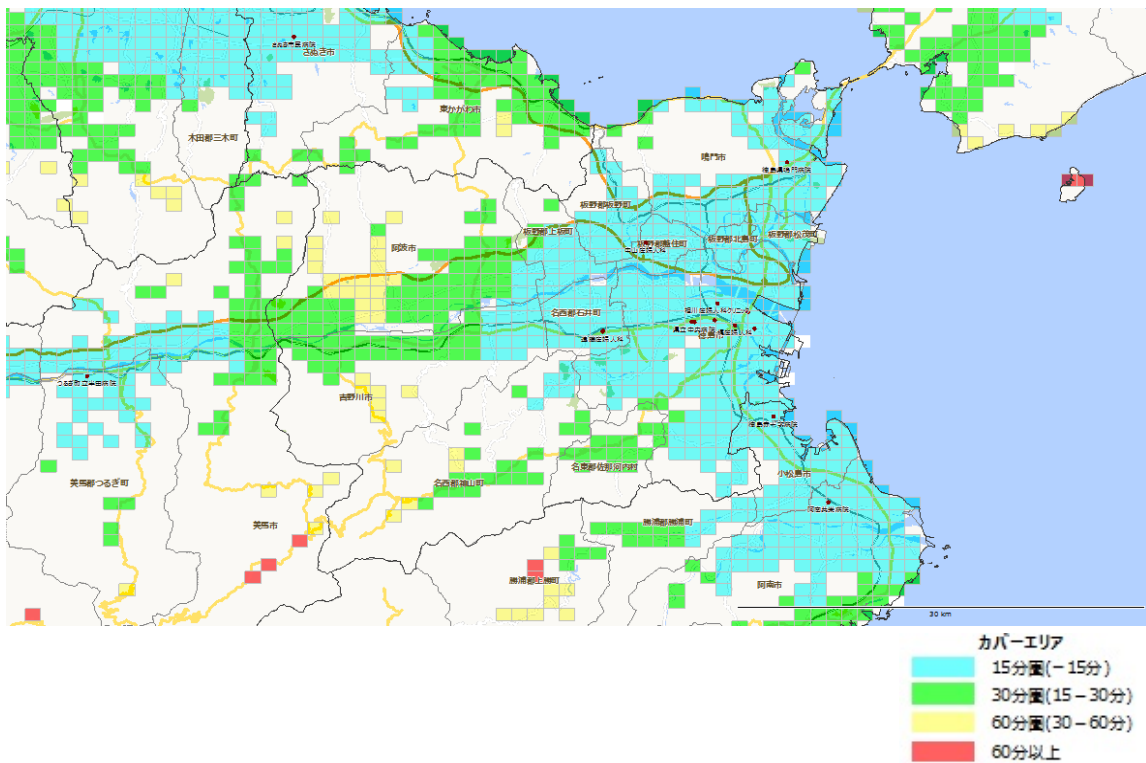
(東部医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表36-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

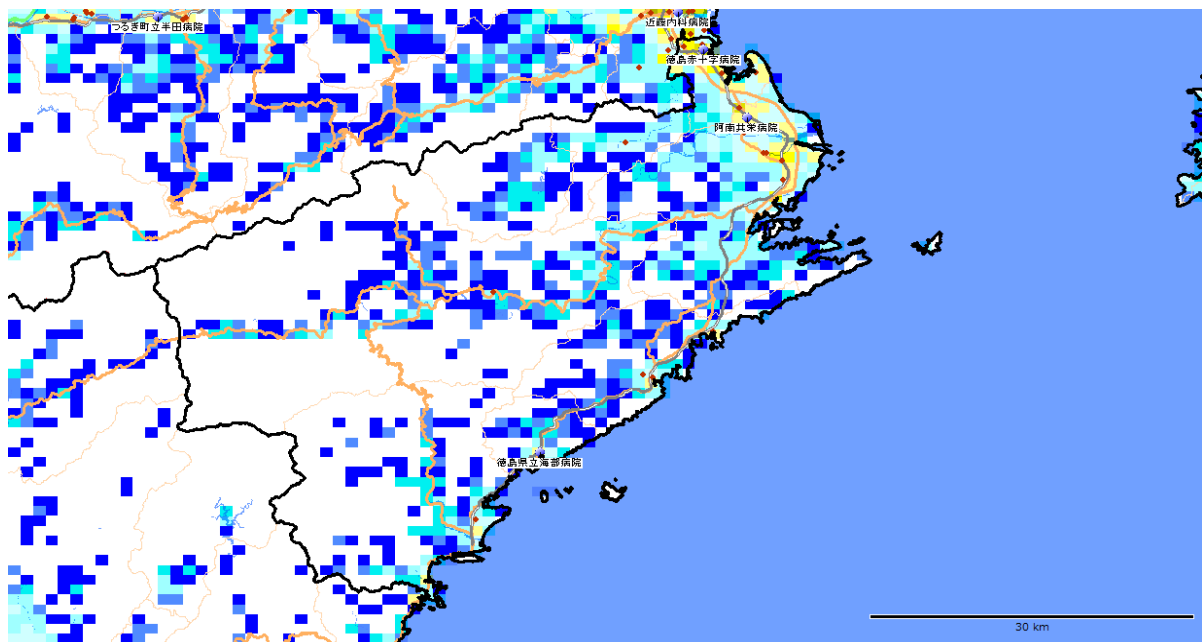




# 36-2. なんぶ南部医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [小松島市](#) [阿南市](#) [勝浦町](#) [上勝町](#)  
[那賀町](#) [牟岐町](#) [美波町](#) [海陽町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南部(小松島市)は、総人口約148千人(2015年)、面積1724km<sup>2</sup>、人口密度は86人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に131千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に106千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値63)、介護給付費は294千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.92、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が52(病院医師数55、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の徳島赤十字病院(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2458人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1873床(偏差値57)、高齢者住宅等が585床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2194人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設57、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム49、グループホーム52、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、311人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (南部医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年164694人が、2015年に147656人と10%減少し、2025年の人口が131173人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

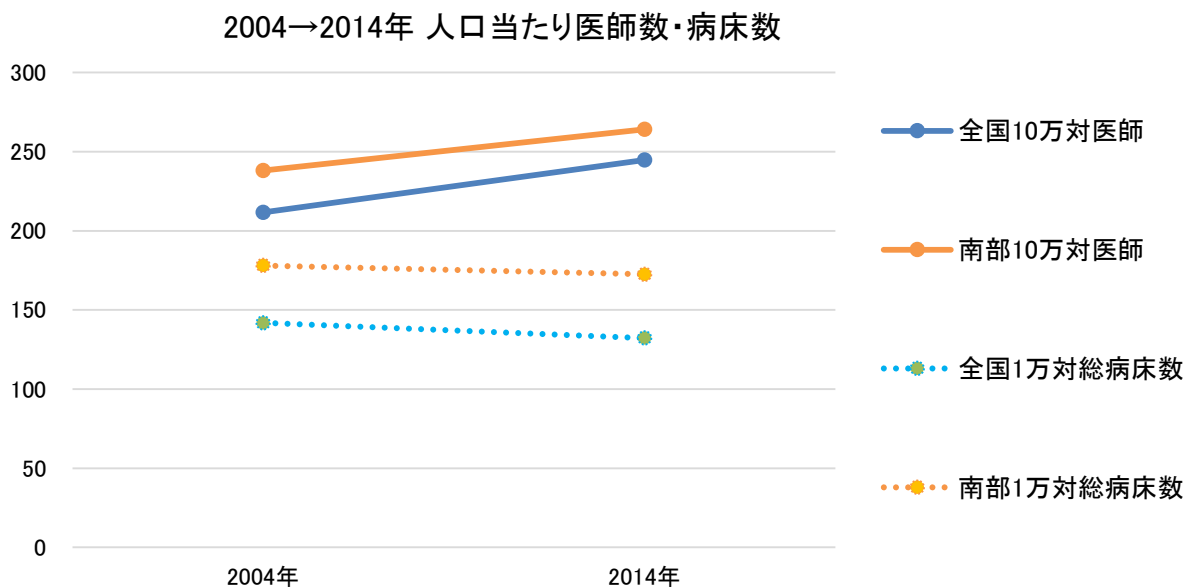
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり12.8病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に21(人口10万人当たり14.2病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が143(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に124(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値53)と、19診療所が減少した。

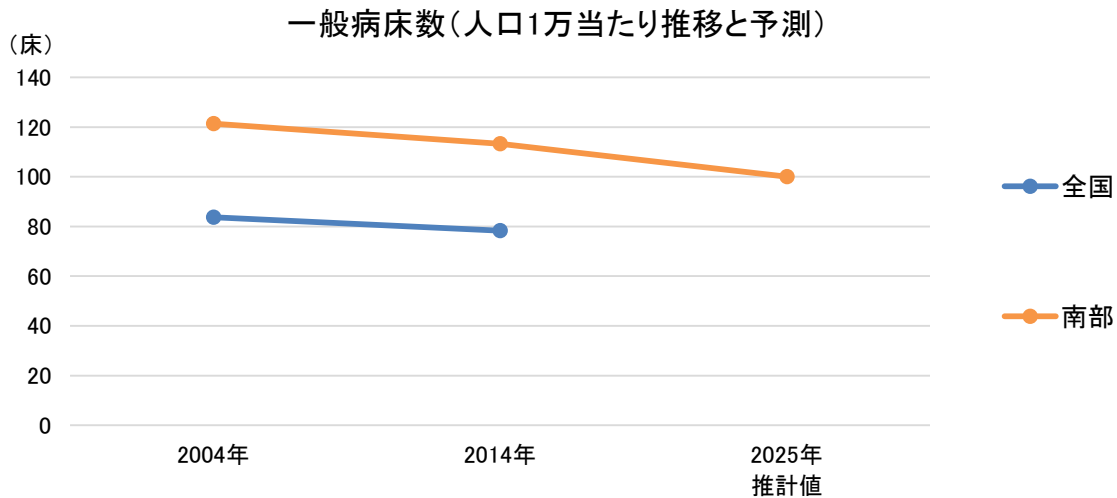
2004年の総病床数が2933床(人口1万人当たり178(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に2547床(人口1万人当たり172(全国平均132)偏差値57)と、386床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が392人(人口10万人当たり238人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に390人(人口10万人当たり264人(全国平均245人)偏差値52)と、2人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



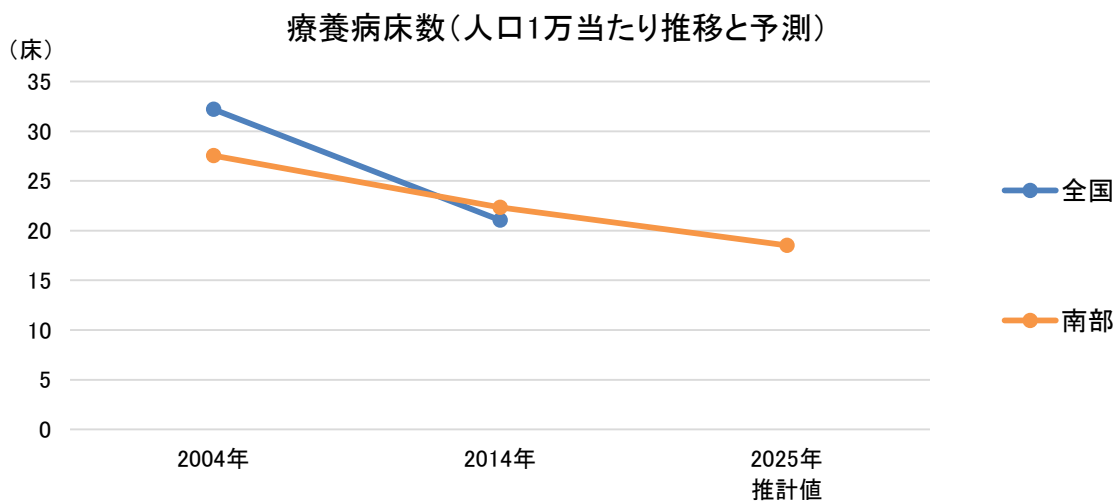
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が1999床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に1672床(人口1万人当たり113(全国平均78)偏差値63)と、327床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1312床(2025年の推計人口1万人当たり100)になることが予想される。



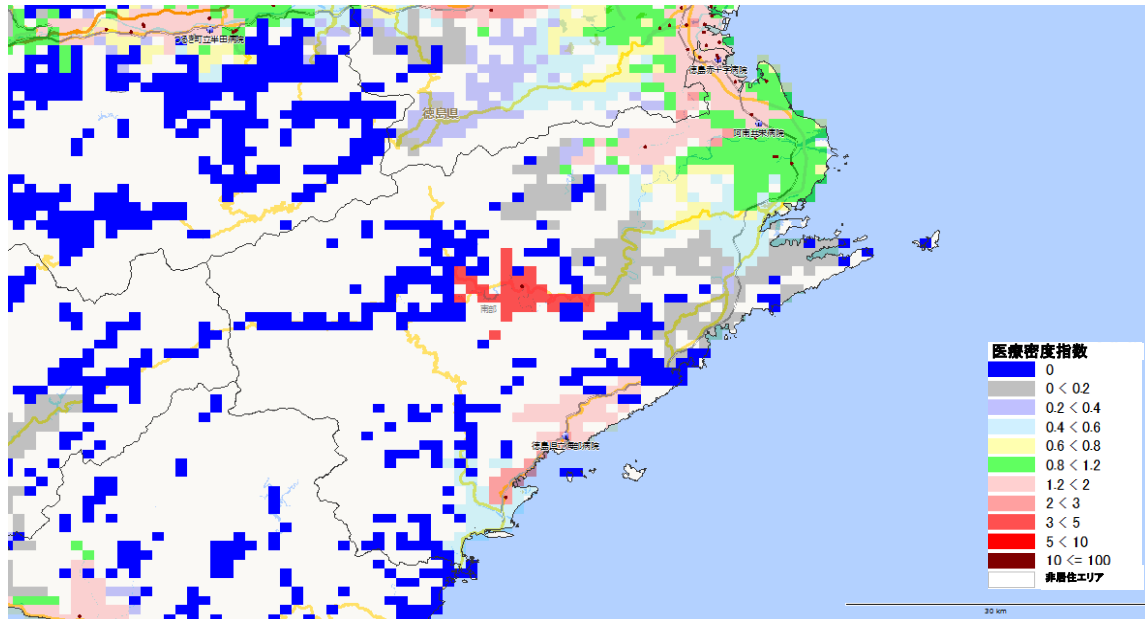
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が618床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に596床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、22床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には572床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



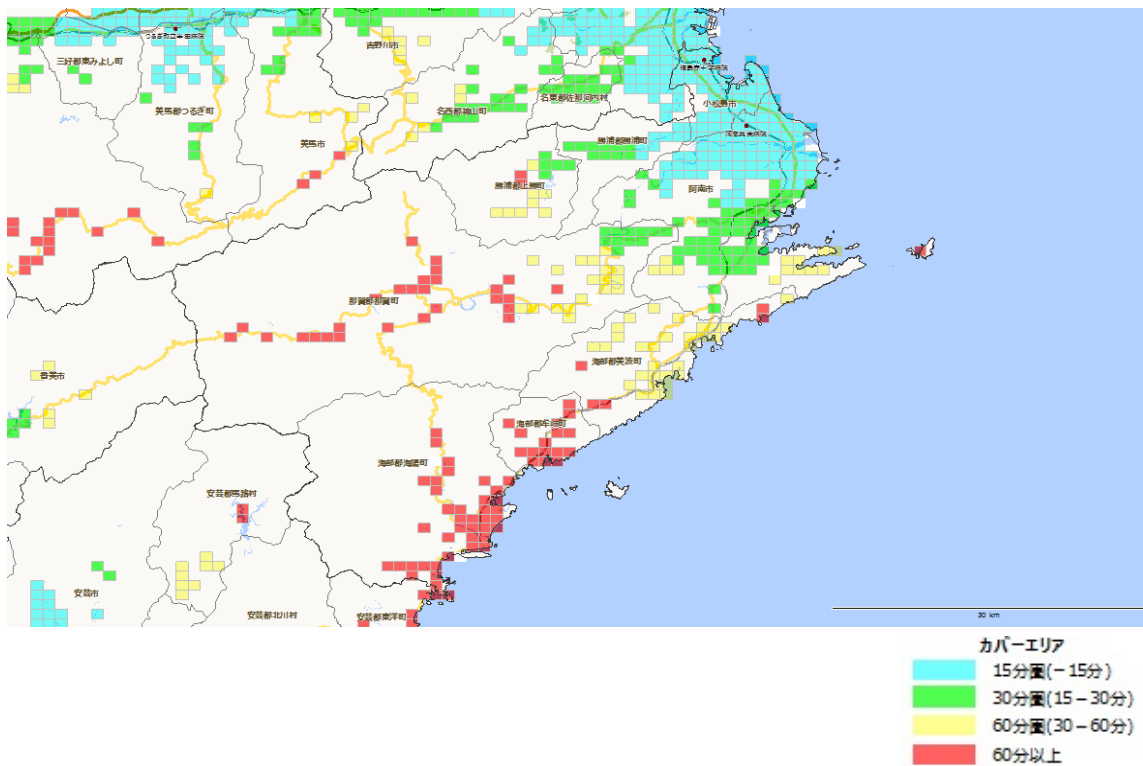
(南部医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表36-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

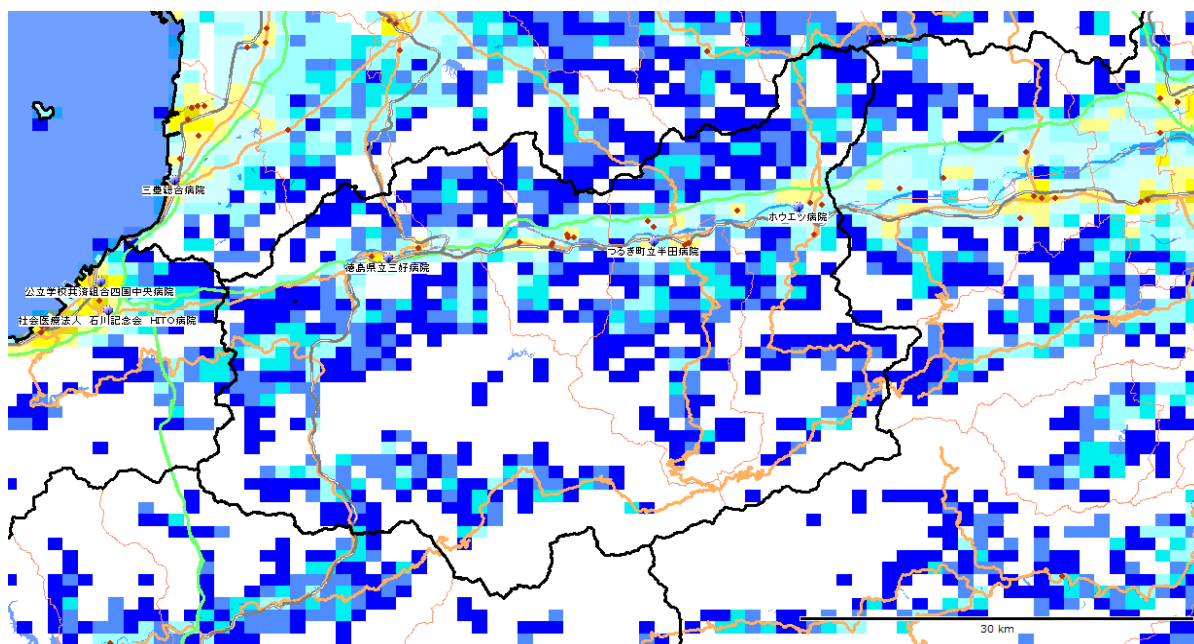
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



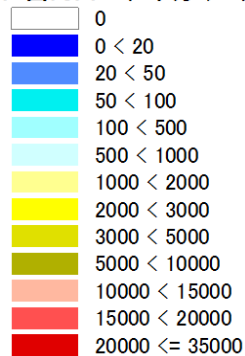
# 36-3. せいぶ西部医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [美馬市](#) [三好市](#) [つるぎ町](#) [東みよし町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(美馬市)は、総人口約81千人(2015年)、面積1406km<sup>2</sup>、人口密度は58人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に67千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に49千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて17千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は456千円(偏差値75)、介護給付費は314千円(偏差値67)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状：総医師数<sup>3</sup>の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は67と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は84で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1935人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1435床(偏差値64)、高齢者住宅等が500床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1544人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設77、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム64、サ高住39である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値82と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、214人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (西部医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年96016人が、2015年に80902人と16%減少し、2025年の人口が66663人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

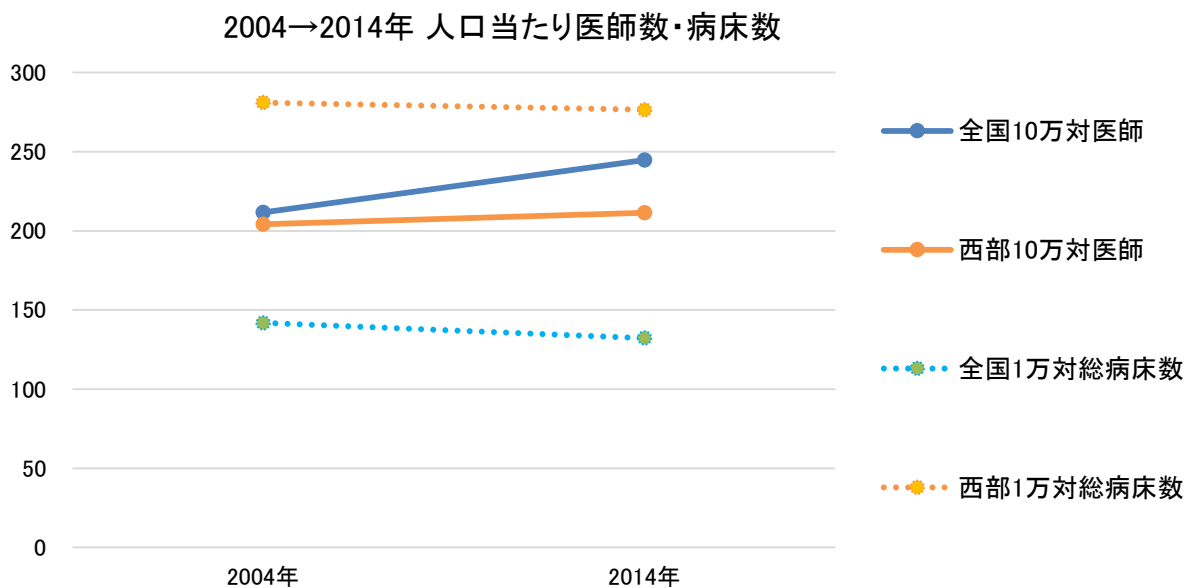
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり21.9病院(全国平均7.1)偏差値88)であったが、2014年に18(人口10万人当たり22.2病院(全国平均6.7)偏差値88)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に76(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値58)と、18診療所が減少した。

2004年の総病床数が2699床(人口1万人当たり281(全国平均142)偏差値75)であったが、2014年に2237床(人口1万人当たり277(全国平均132)偏差値76)と、462床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

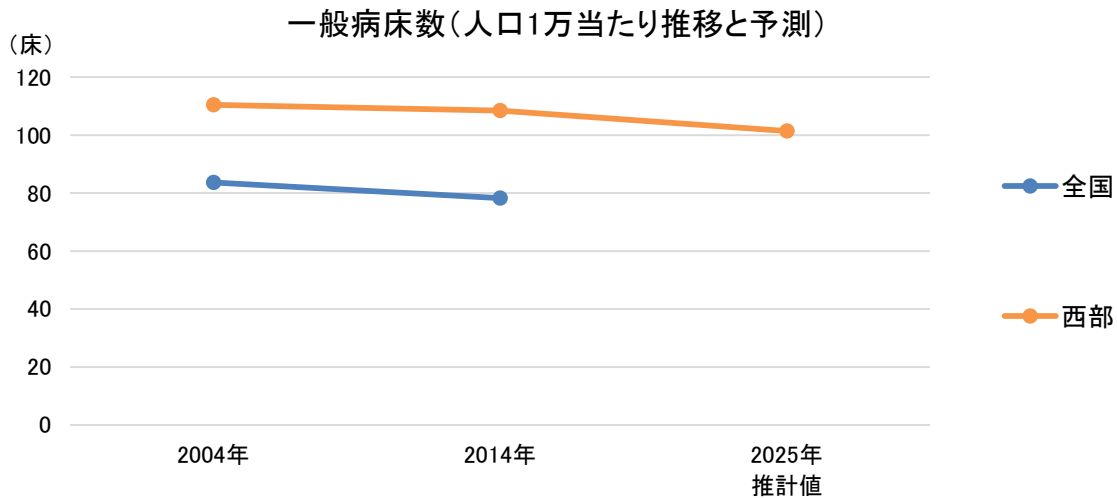
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が196人(人口10万人当たり204人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に171人(人口10万人当たり211人(全国平均245人)偏差値46)と、25人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。





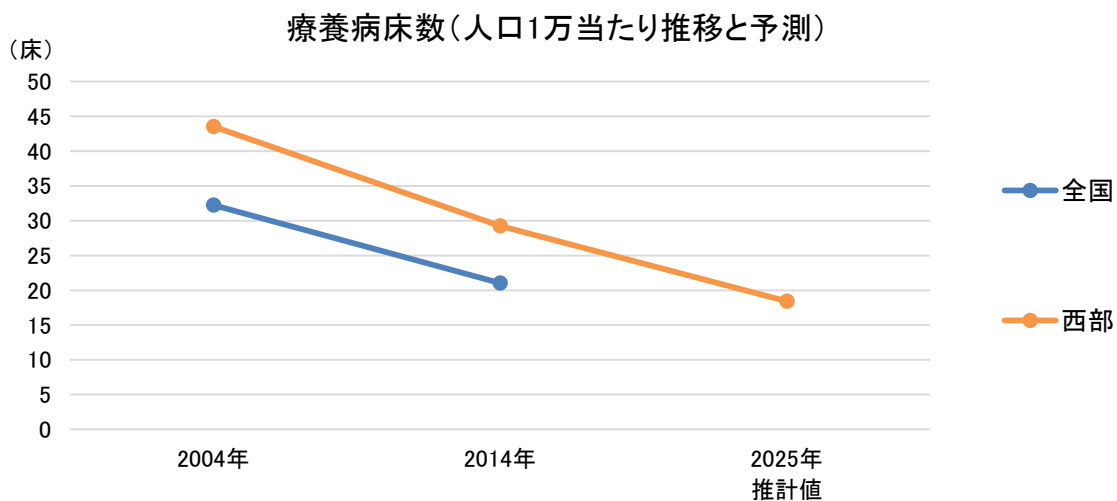
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1060床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に877床(人口1万人当たり108(全国平均78)偏差値61)と、183床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には676床(2025年の推計人口1万人当たり101)になることが予想される。



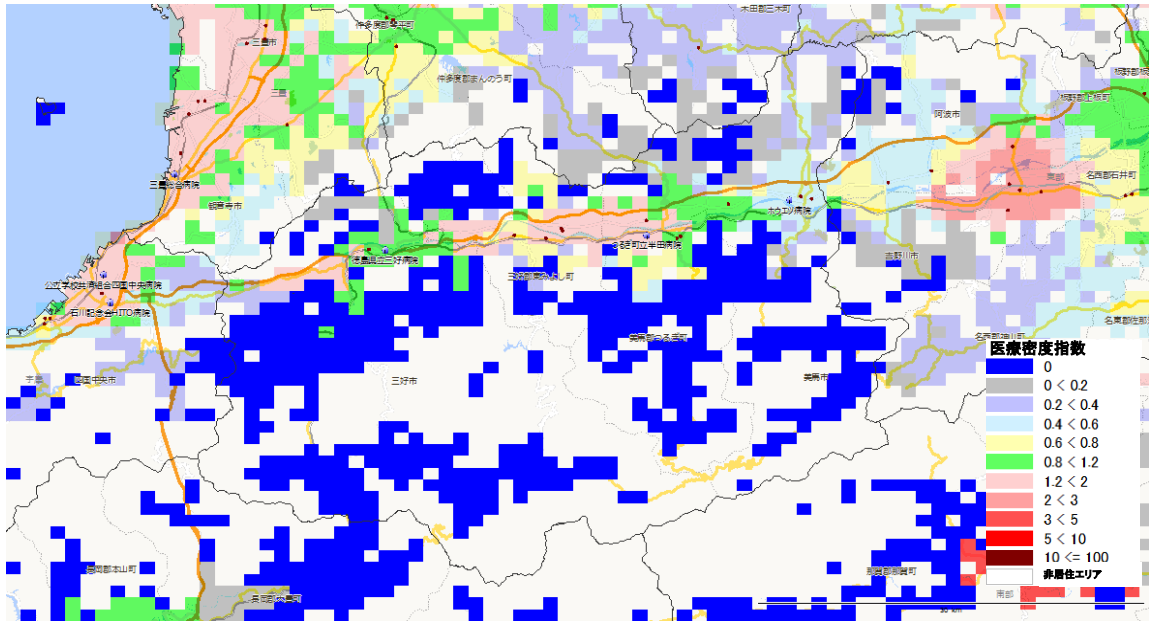
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が722床(75歳以上1000人当たり44(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に530床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、192床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には319床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



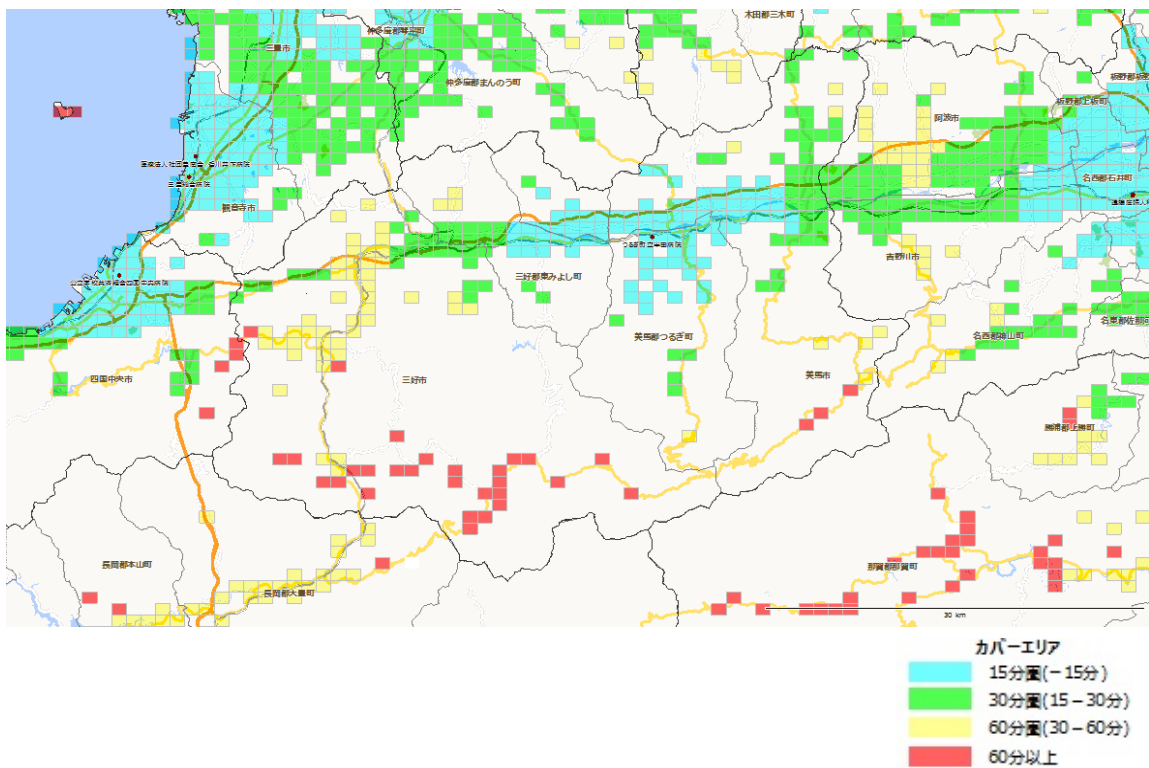
(西部医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表36-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

<sup>9</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。